

令和8年4月16日から18日まで、沖縄八重山諸島に行つて来ました。旅行記は社内誌「2027年新春号」でお届けするとして、今回はその際利用したANAのセントレア～石垣便のプレミアムクラスをご紹介します。

旅行に行くことを決めたのが今年の1月で、ANAの予約ページで利用予定日の運賃を調べたところ、早割最安運賃座席はすでに完売。そこで何気にプレミアムクラスの早割運賃を調べてみたら、購入可能な普通席早割航空券とそれほど大きく違うくないことに気づき、この金額差だったらプレミアムクラスに乗ってしまおうと思いました。

わが家の搭乗日のプレミアムクラス早割航空券は、空港使用料込みで片道4万千百円。同じ日の購入可能な普通席の早割航空券は同2万3千円でしたので、差額は1万8千円ほど。国際線のビジネスクラスとエコノミークラスのような大きな差ではないので、次に利用す

る際もこの価格差で乗れるなら、ぜひともプレミアムクラスに乗りたいたいものです。ちなみにANAは5月19日より、プレミアムクラスを「ファーストクラス」に名称変更しています。



4月16日の旅行出発日、今回がわが家初の国内線プレミアムクラス利用でしたが、空港到着時から各種サービスの恩恵を受けました。手荷物を預けるカウンターは上級クラス

専用でスムーズですし、搭乗時間まで航空会社ラウンジを利用。また優先搭乗で機内に入ると、CAさんがひとりひとりに搭乗のお礼とあいさつにきました。

この便の使用機材がちょっと古いこともあり、座席はお世辞にもすばらしいというものではないかもしれませんでしたが、それでも座席の大きさと間隔は十分。

ベルト着用サインが消え、機内サービス開始。往路便の食事はサンドイッチが提供されました。アルコール類もあったのですが、私は空港からレンタカーを運転しなくてはいけないのでソフトドリンクで我慢しました。

飛行中は快適そのもの。ANAのボーイング737-800のプレミアムクラスは機体前方に2人席+2人席が2列の計8席あるのみ。この座席数の少なさもステータスに感じました。

帰りの4月18日の石垣～セントレア便の座席は1列目の右側「1H」と「1K」。やはり最前列シートは気分

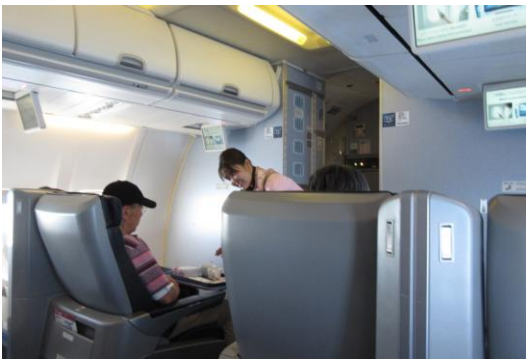
がいいです。そして往路便と同じようにCAさんが搭乗のお礼とあいさつにきました。

離陸後しばらくしてドリンクサービス開始。その後、プレミアムクラスには食事が配られ、今度は「空弁」といえるきれいな盛り付けのお弁当でした。味もグッド。

今日はクルマの運転をすることはないので、ビールをもらいました。

快適なフライトは時間の経過も早く、あつという間に紀伊半島上空へ。この日は南風で遠回りして北からの着陸でしたが、定刻より10分早くスポットイン。

最前列のわが家は真っ先に降機。そして預けた手荷物もPRIORITYタグのおかげで一番に流れてきました。国内線といえど、プレミアムクラスはいいですね。また乗りたいです。



復路便の食事。和のテイストでまさに「空弁」。みそ汁付き。 往路便の食事。2種類のサンドイッチにスープとフルーツ付き。 セントレアの国内線制限エリア内航空会社ラウンジ。